

信州大学医学部附属病院に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2024年6月4日

「Small-colony variants のメカニズム解明と 検査法の確立に関する解析」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、
研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5464
研究課題名	Small-colony variants のメカニズム解明と 検査法の確立に関する解析
所属(診療科等)	臨床検査部
研究責任者(職名)	根岸達哉(主任臨床検査技師)
研究実施期間	医学部長による許可日～2027年2月20日
研究の意義、目的	細菌変異株である Small-colony variants のメカニズム解明と検査方法の確立をを目的とした研究で、Small-colony variants による細菌感染症治療に貢献すると考えられます。
対象となる方	2006年4月1日～2024年3月31日に培養検査を受け、Small-colony variants もしくはその疑いが検出された方 2006年4月1日～2024年3月31日に培養検査を受け、ESBL (extended-spectrum β -lactamase)産生菌が検出された方
利用する診療記録／ 検体	当該細菌を分離した検体種(例:喀痰、糞便)、使用薬剤 ／細菌培養検体から検出された Small-colony variants、ESBL 産生菌株
研究方法	検出された Small-colony variants の分子生物学的解析を実施し、これら変異細菌の特徴を調べます。また、微生物検査における検査法の確立に向けて検討を行います。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名):根岸達哉(臨床検査部・主任臨床検査技師) 電話:0263-37-2802

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、
検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。